

平成 26 年 6 月 1 日発行
第 188 号

康寿診報

編集 / 発行 医療法人社団 康寿会 加藤内科医院

〒421-0301 静岡県榛原郡吉田町住吉 303-1

Tel:(0548)32-0701 緊急用:090-1758-1712 Fax:(0548)32-1280

「『大丈夫、なんとかなる』と言い聞かせ『信じ込み 進む力』」

- 「想像を絶するプレッシャー・極限の精神状態」期待の中で戦える幸せを感じて ~W杯ブラジル大会に向け ~ -

W杯ブラジル大会開催 2014年6月と成った。ドーハの悲劇(1993.10.28.)から4年後 最後まで詰めた野人岡野雅行の延長後半の得点 W杯初出場を決めたジョホールバルの歓喜(1997.11.16.)、そして日本が経験した初戦 仏W杯アルゼンチン戦(1998.6.14.) 結果だけ見れば0-1だが 技術・戦術そして経験の差は歴然としていた。予選敗退が決まったの最終戦 ジャマイカ戦(1998.6.26.) ゴン中山雅史の初ゴール、この試合 右腓骨骨折しながら ゴール前に果敢に走り込む姿は 頭に焼き付いている、結果的に3連敗。16年の“時”が経過し、サッカーの戦術・在り方が変わり 日本もかわった。

前回南アフリカ大会 ベスト8を懸けたパラグアイ戦(2010.6.29.) 岡田武史監督 あの時点で日本の可能な 精一杯の結果、PK戦 駒野友一のキックは左上クロスバーを直撃 万事休す。敗れた忸怩たる思いを胸に秘めた J2ジュビロ磐田 駒野も 登録外控え選手とし 日の丸を支えている。

サッカーという競技 たとえ力の差があってもどうなるか分からない。たとえブラジルでも一次リーグ敗退の可能性は ゼロではない。日本が 3連勝しても 3連敗でも おかしくない。

元日本代表 キングカズ(1967.2.26.生) 47歳で現役J2横浜FC選手 三浦和良氏は 3月頃 けがから復帰 リハビリ中の 長谷部誠 と食事をして「やれるに決まってるよ」「ぶっつけ本番でも絶対大丈夫だ」と 繰り返した。ACミランで出番の少なかった 本田圭佑 は「すべてをプラスにかえていけばいい」と “時”をはかり “優勝”という言葉 を口にしながら 頭に描き、“本番に最高潮のパフォーマンス”を 身心に焼き付け 歩んでいる。【「榛南の地に“ドリカム”を <Yellow Card 編>」P6 参照】

「下手糞」だが「我武者ら」さだけは 負けない」と語り「闘魂の化身」としフィールドに立った ゴン中山雅史(1967.9.23.生)は「『死に物狂い』という言葉 を“体で表現してくれるチーム”であってほしい」と語る。ゴン魂は 岡崎慎司 の精神 心体に ものの見事に 宿っている。

「“極限の精神状態”の中 “ありのままの自分”を精一杯だす」だけ、「実力以上のものはない」「失敗は許されない これで人生が終わる…」なんて考えは 捨ててかかれ」「期待の中で戦える幸せ」を 国の代表日本の代表である「己を フィールドの中で 描いてこい…」 「逃げ場はない ないなら前へ進め」「よしやるぞ 俺は日本の代表 「なめられてたまるか…」」「『君が代』斉唱」の後は大歓声の中 プレーでき 勝てば歓喜を巻き起こせる “快感”がある。失敗したら 反省し 次に生かせばいい。また 控え組の中で 誰が“元気印”になれるか “精神的支柱”も必要。「行動を示すこと」が毎回の大きなポイント。「試合に出場できなくても、不満・葛藤がつきまともとも、率先し 個々が 行動「動」の姿勢を示してほしい、「今この“時”の歩みが すべては 己の“糧”となる」こと。

今回 W杯予選C組は コロンビアが一強で 3勝する可能性が高い。ひょっとすると 日本・コートジボワール・ギリシャが 1勝2敗で並び 予選C組2位予選通過は 得失点差 さらにこれが並び得点差の勝負になる可能性まである。この際は 日本は 決勝リーグ進出の決まった コロンビアが最終戦、僅かなアドバンテージ、最後の最後まで「諦めるな なめられるな… “意”を決し“事”を成せ」。加藤寿夫

“組織” チームは これを成す “個”の“器” “力”が在って 成るもの、日本に生まれ 日本人として 当たり前「平和だから成せる“こと”」に 感謝。“個”が “實”をもち、さらに この“個”を 監督が掌握し、個の“力” “實”を認め、嘘・偽り・誤魔化し無き 信頼関係の中、組織は統率をもち 強固な“団結力”を持つ、この“和”が 新・旧かわらぬサムライジャパン、今この時 覚悟を決め “氣”を引き締め “事”を成す。“魂”を握え 成す、この“世”に いかさせる“こと”に 感謝。 W杯に 期待する、 (2014.5.27. 寿 [=寿実寿美]Diary より)

“組織”の在り方 - 我が榛原医師会存続に必要・必至な事 -

私 加藤寿夫が 榛原医師会会長に立候補の事由 己の姿勢を本音で述べ 申す事
情けないおもいでであるが、過去 何度も 我が榛原医師会 この総会に於いて 議長に朗読
をお願いした内容」下記、今回も 全く同様の朗読につき お願いした。

榛原医師会医師会総会 2014[平成26]年6月20日(月)開催に於いて 議長に朗読をお願いした内容
“榛原医師会執行部へのお願い” “話し合いの場”を持つ事 “交渉事”を放棄しない事 医師
会が 我々医師の “個の集団としての意義”を持つ事 問題が生じた際 “裁定が成される組織”
である事 以上、私 加藤寿夫が 執行部に求める内容 申し上げます。

上記は 過去の榛原医師会総会 2011[平成23]年6月27日・2012[平成24]年6月25日開催にて 議長に
朗読をお願いした内容と 全く同じ文面であります。また これ以外に 開示を願う “議”を願った “書”
はかり知れません。今回 この朗読の内容は 総会議事録 榛原医師会会報に掲載の事 願います。

前会長 故 小田原秀眞先生には 2014[平成26]年2月17日(月) 診療所に伺った。この際
[榛原医師会執行部宛申上書(その ~)]の内容 特に(その) [康寿診報第185号P2,3]の
件、会長 高木平氏の会報掲載の内容の是非、大川雅龍氏の件 [事項]は無論 [事項]
まで、(その)産業医の件の現状報告、吉田町の保健医療会議について、斉藤信子先生の
件等 アーカイブを圧縮した様に、終始笑顔で大きな器で受け留めていただき、奥様 智子さん
と共に歓談した。私の書 “糖尿病のABC”は 嬉しそうに 受け取っていただいた。そして 最
後に話したのはわずかな時間であるが 3月7日(金)昼 千正鎬先生と共に ポリオの予防接種
で保健センターに 出向いた時であった。この際 町の保健師から「今年度は 話し合う内容も
無く 保健医療会議は行わない…」との旨 「酒井丈夫理事 斉藤信子理事には確認済」との話。
これらの状況を勧告し「兎に角 確認をします」と申し “書”したのが(その) [康寿診報第185
号P1 に掲載]の内容である。故 小田原先生と 最後の最後 駐車場で立ち話をした後 「先生
歩きですか？」と尋ねたのが 最後の会話であった。私 加藤寿夫にとっては大切な “師”の
いき様 「鑑みると “実直”」という言葉がピッタリの 偉大な方」でした。ご冥福をお祈り致します。

話しを戻します。過去 3年 5年 10年 何百回に及び 申し上げた内容の中から、最低限役員
改選となる今この時期、数か月前から 簡潔明瞭に 具体的に 行動する事項を絞り、けじめ
を持つべく、榛原医師会執行部に対し 最終的に “書”を持ち 申した内容が 下記 である。

平成26年6月11日(水) 榛原医師会 執行部・会長 高木平氏宛の “書” [No.108(榛原医師会執行部)・No.72-8(高木平氏)・No.25(事務局)]より抜粋

私 加藤寿夫の 毎月の「編集委員会・役員会召集の事」 執行部・事務局より連絡願うも 対応無く、
待機するも 音沙汰無く、心外で 呆れ果てます。再々提示済 [榛原医師会執行部宛申上書(その ~
)]周知の上 “議”を成し 「「無言・隠蔽 闇に葬る事」は 解除下さい」。役員改選前 即刻成す “事”とし、
両副会長 赤堀彰夫氏・石井英正氏に提示 メモリースティックは 返却下さい。

事務局として 過去の康寿診報 “拉致監禁状態”にある本院から配付を願った出版物は [平成26年
2月10日付 榛原医師会からの連名の “書”]の謳い事に従い 即刻返却願います。本院 加藤内科医
院事務員との話で 「平成26年6月3日(火)夕方の便で すべて返却」との旨も 不履行」職員一同
榛原医師会事務局に不信を抱いております。

会長 高木平氏 吉田町町長 田村典彦氏に連絡を取り ヨウ化カリ備蓄につき 確証を得る事。
大川雅龍氏の件 [事項] 役員改選前即刻 裁定委員会で裁定の事。

~ 以上願います。決定事項 早急に報告下さい。

兎に角、会長 或いは “責”ある者より 即刻連絡下さい。

これらの 絞り切った内容につき 返答無き状況下、総会の席に於き 申上書(その ~)
の配付を願う 本書を事前に提示の上で、簡潔明瞭に討議させていただく 心積である。

現会長 高木平氏には 毎日の様に 面談を願い 必要に応じ 医師会でも診療所へでも 出向く旨 医師会事務局に “書”を持ち 電話連絡を成し 伝えるも 返答無し。愕きを通り越し 呆れている。平成 26 年 4 月 30 日(水) 吉田・榛原会員連絡協議会に於いて 会長 高木平氏の 役員改選に対する“意” 上記 拝受した上、何度にも亘り 私 加藤寿夫の“意” 下記 伝達済です。

平成 26 年 4 月 30 日(水) 吉田・榛原会員連絡協議会に於いて 会長 高木平氏の “榛原医師会役員改選”に際しての“言”

職員給料の定期昇給・退職金など 給料体系等の問題は 現会長 私の“責”で片付ける。現副会長 赤堀彰夫氏は 静岡県医師会からの依頼もあり 県医師会理事等 県医師会の仕事に専念する為 榛原医師会での位置付けは 副会長は辞め 理事として 県医師会とのパイプ役は 今後もお願ひする。以上の情勢から もう一期 会長職を 継続する事をお願いする。静岡県医師会の動向では 会長 鈴木勝彦氏が 退任され 副会長 篠原彰氏が 会長に就任される方向である、私は 篠原彰氏より 県医師会の副議長の要請を受けており この役を受ける積りである。

この状況に在っては 副会長 石井英正氏には 次々期会長として 半分ぐらいの会長の仕事を お願いしたい、何人かの方に もう一人の副会長を お願いしたが、最終的に 大川雅龍氏に 承諾いただいた。

平成 26 年 5 月 28 日(水) 私 加藤寿夫の“意” (榛原医師会 会長 高木平氏宛 “書” [No.71-8] で申した内容)

平成 26 年 4 月 30 日(水) 吉田・榛原会員連絡協議会に於いての 現会長 高木平氏の “言” 上記、 「高木平氏の言 拝受」し、私 加藤寿夫の“意” 申します。

「ヨウ化カリ備蓄・配付の問題」 チェルノブイリ、3.11 の状況を鑑み 日本医師会のシンクタンク等 専門家の意見を尊重し 出来るだけ早期 最悪でも 今後 私に与えられた任期中に 榛南地区の家庭に 備蓄される様に 仕向けます。

早期 半年以内に「榛原医師会 広報 “心のひろば” を 復活」発行させます。

「メタボ健診の問題」 榛原医師会 特に榛南地区で 地域住民の為に 啓蒙・教育を含めた 事後処理の充実を図り、静岡県の 日本の 先進地区としての 取り組みが成せるように 仕向けます。

まず 今の榛原医師会 特に 会長 高木平氏に必要・必至なのは 「話し合い・交渉事を成す事」、その為には プランを示し 我が 榛原医師会の進む道 「自らの組織の現状の分析を成し 近未来の方向性をトップが 総論・各論で示す事」、今のトップ 高木平氏に 足りない事 「欠損している問題である」と 指摘しております。

先日 和歌山県立医科大学 前学長・和歌山労災病院 現院長 南條輝志男先生と ワインを飲みながら じっくりと話す機会を得た。私の大切な“師” 「輝く 志の 男 (本人が 5 年ほど前まで 講演の際 最初に口にしていた言葉)」が タクシーの中 第一声 申されたのは 「医師会が 何故ヨウ化カリ備蓄を拒むのや…」との 問いであった。私は 即答できずにいたが… 色々考えた上で 「私の未熟さがまねいた 確執によるもの…」と 考えている。しかし それだけであろうか？

私 加藤寿夫の “意” 一つの大きな決断をした。榛原医師会会長に立候補の事由 己の姿勢を本音で述べる。

現会長 高木平氏が 平成 26 年 4 月 30 日(水) 吉田・榛原会員連絡協議会に於き “榛原医師会役員改選”に際しての“言”に対し、何度にも亘り 毎日の様に アクセスしても

(その 1) 会長 高木平氏 執行部 責ある者が 私 加藤寿夫と話す機会を持たない状況

(その 2) 吉田町 町長 田村典彦氏に連絡を取り ヨウ化カリ備蓄につき 確証を得る事が出来ない状況

(その 3) 大川雅龍氏の件 [事項] また 「“糖尿病の ABC” 会報で紹介の願ひ」につき 報告無きこと 役員改選前に 本人或いは 編集委員会からの訂正が成されない状況

以上の事が 役員改選の期限ぎりぎりまで待ち 一つも満たされなければ、可能な限り 己の姿勢を示し 我が組織 榛原医師会の会長に 立候補する事、平成 26 年 4 月 30 日(水) 吉田・榛原会員連絡協議会の後 覚悟した事です。3 年 5 年の経過の上 50 日余り 行動してきました。

総会の場 会長は 「議の場では無い」と 申されますが 暫しの時間 いただければ幸いです。

《書籍『糖尿病のABC』出版》

定価：本体 1300 円(税別)で発売中です。

書店でお求めください。なお 本院窓口では 税込 1300 円で 配付しております。

《「ヨウ化カリウム丸 50mg」備蓄を！》

不測の事態に備えるにあたって

本院では 1シート 10錠 100 円にて 配布しております。

緊急時すぐに内服できる場所(仏壇・神棚の引き出し等)へ保管しておくことをおすすめします。

ヨウ化カリの備蓄は 行政等に頼る事無く 自ら確保・備蓄し、対処の仕方まで、知っておく事が 必要です。

「ヨウ化カリウム丸 50mg」は 劇薬ではありません
また 医師の処方が必要な 要処方薬でもありません。

「ヨウ化カリウム丸 50mg」は 直径 5mm の球形 赤茶の塊で ピンク色のビニールの袋で 10錠ずつ包装されてます。

放射性ヨード「¹³¹アイ」に 汚染された際は 40歳以下 特に 20歳以下であれば 絶対的に以下の量、体重 20kg 以上は 2錠 体重 10kg 以上は 1錠 体重 10kg 未満は 0.5錠の「ヨウ化カリウム丸 50mg」を 内服し、早急に汚染圏外に避難する事です。ヨードを含む造影剤による生命に関わるような副作用は 起こりません、原則 1回の服用とされますが、汚染された土壌から 避難出来ない場合は 圏外に出れるまで 一日一回 上記容量の内服をおすすめします。

40歳以上の方は ヨウ素剤の内服は必要ありません、ただし 妊婦については 上記の量の内服して下さい、
ただし 専門家の意見では、半年前頃から 40歳以上の方にも 全員に内服させようとの動きが出てきています。

《管理栄養士による栄養指導について》

当院は 2名の管理栄養士が 栄養指導を行う体制を整えました。当院の患者さんはもちろん、他院を受診 通院中の方でも 希望があれば 栄養指導を行います。気軽に声をかけて下さい。

外来栄養指導

- ・治療中の病名で対象となる方(糖尿病、脂質異常症、肥満、高血圧、心臓病、腎臓病、肝臓病、胃潰瘍等)へ 医師の指示の下、個々の生活習慣の見直しから 栄養指導を行います。
- ・その他 食事管理方法がわからず 病状の回復が思わしくない方、低栄養状態の方、治療食や嚥下食の食事作りに困っている方等、患者さんへ 治療食から流動食まで幅広く調理できるように 指導いたします。

訪問栄養指導

- ・訪問栄養指導では 管理栄養士が 通院困難な患者さんのご自宅にお伺いして、栄養状態のチェックをしてから、調理指導や買い物指導、栄養補助食品の紹介、嚥下食の作成、ヘルパーさんへの指導等を行い、安心して在宅療養生活をお送りいただけるような 食事生活プランを作成します。お気軽にご相談ください。



《臨時休診のお知らせ》

休診日：日曜・祝日 木・土曜の午後
お薬を切らさないように 気を付け下さい。

6 / 27(金)午前(午後は通常診療)、8 / 1(金)・2(土)・
15(金)・25(月)、9 / 22(月)は臨時休診です。